

# 淀川水系流域委員会準備会議 情報受発信の状況

## 1. 情報発信の状況

### インターネットホームページ(アドレス)

- (更新履歴) 平成12年 8月 8日・・・「淀川水系流域委員会準備会議」ホームページ開設 (Web 上から意見聴取も同時に開始)  
平成12年 9月 6日・・・第 1 回淀川水系流域委員会準備会議 議事録掲載
- (アクセス件数) 平成12年 9月25日現在・・・アクセス件数 延べ 300件

### ニュースレター

- (発行履歴) 平成12年 8月15日・・・「淀川水系流域委員会準備会議ニュース No.1」発行
- (配布先) ニュースレター配布・・・設置先は以下の通り。ただし、配布機関から、さらに関連機関に再配布していただいた機関もある。

表 ニュースレター配布先一覧

近畿地方建設局	けんせつ事業PRコーナー、河川部、淀川工事事務所、琵琶湖工事事務所、大戸川ダム工事事務所、木津川上流工事事務所、淀川ダム統合管理事務所、猪名川工事事務所、猪名川総合開発工事事務所
水資源開発公団	関西支社建設部
大阪府	池田土木事務所、茨木土木事務所、枚方土木事務所
兵庫県	土木部
京都府	土木建築部
滋賀県	河港課
奈良県	土木部
三重県	伊賀県民局

### 記者クラブ発表

- (発表履歴) 平成12年 7月24日・・・淀川水系河川整備計画の策定に向けて  
7月26日 淀川水系流域委員会準備会議を開催
- 平成12年 8月22日・・・淀川水系流域委員会  
「淀川水系流域委員会準備会議ニュース」発行とホームページで意見募集
- 平成12年 9月25日・・・淀川水系河川整備計画の策定に向けて  
「第 2 回淀川水系流域委員会準備会議」を開催

### 新聞掲載

第 1 回淀川水系流域委員会準備会議 関連記事掲載 京都新聞 (7/27)、読売新聞 (7/27)

## 2 . 淀川水系流域委員会準備会議への意見等

準備会議へ寄せられた意見等について、明らかに意見募集の主旨から大きく逸脱すると考えられる意見を除くと、電子メール (E-mail) で6通、ファックス (Fax) で9通、合計15通届いている (9月27日15:00までに届いた意見を先着順に掲載)。

	発言者	意見	聴取媒体
1	行政関係者	ニュースレター、ホームページ見せてもらいました。 情報を積極的に公開していこうとする意向と、行政が決めるのではなく、有識者が決めて行こうとする考えに共感しました。我々も指定区間の河川整備計画を策定しつつありますが、大いに参考にさせていただきたいと思います。 今後ともよろしくお願いします。	E-mail
2	個人	淀川水系では、上下流で水利用の状況およびそれに対する意識が異なっていると思われます。 生態系を含めた水環境や水利用の実態を踏まえて、淀川水系の流域のあり方を検討されることを期待しています。	E-mail
3	個人	ビオトープが繁栄できる設計と施工方法で事業計画を進めて頂き、自然生態系が生息出来るような場所をつくって頂きたいと思います。	Fax
4	個人	高度成長以来、日本経済は、土木と共に成長し各地区、山道に至るまで交通網も整備され国民一人一人が豊かに、又、便利になりました。しかしながら、緑も土もないコンクリートジャングルと云われる様になり、子供の心はすさみ、豊かさを失って来たのではないかと思います。 そんな中、河川敷の役割は防災設備共々非常に重要で、心のオアシスとして、人間を中心とした生物全てのやすらぎの場とする事を基本方針とすべきではないでしょうか。	Fax
5	市民団体	<p>提言</p> <p>1. 淀川水系流域委員会の下部組織を地区別に分割する。 グループ1・2によって淀川下流の汽水域部会を担当したい。(十三バイパス～長柄可動堰)</p> <p>淀川の現状</p> <p>121種の野鳥を確認。これらの飛来地・繁殖場であり、31種の水生物(立派な大和シジミ・大ウナギも捕れる)29種の魚類(脊椎動物)も確認。 中でも十三干潟は大会の摩天楼を前にしながら、自然の貴重な中心的存在であり残さなければならない。 干潟は周辺の葦原と共に年々大きく育っている。 NHKの残したい日本に音百選に十三の河川敷のマツムシの声が登録されている。</p> <p>2. これら多くの生物がいるため、また自然観察の場としても残す必要がある。 水域利用の厳しい規制を望む。その際、行政の枠組みを越えることも大切と考える。汽水域特別公園の地域指定法を望む。 上記の様に、法の網を被せて頂ければ、無法な自動二輪車・水上オートバイ・モーターボートによる野鳥の巣営への侵入も防ぐことが出来る。逆に彼らには十三バイパスから下流の水域を許可するルールも必要である。スポーツ・その他の分野どうしの棲み分けも大切である。 一方、国立公園の監視員・指導員制度の導入を希望。 建設省には、無給の辞令でもよいと考えている淀川ネイチャークラブに任せるといった柔軟性を示して頂きたい。野鳥観察に使用する300～600ミリレンズで監視は十分に出来るとみている。 これからは行政の枠を越えた柔軟な解釈と行動が必要であると考える。</p> <p>3. 十三の渡し跡の碑を歴史的な物として設置希望。 これは数年前より既に建設省工事事務所に願出しているものである。 石碑文 1. 琵琶湖水系への感謝文 2. 明治時代の中津川～新淀川改修のために川床に沈んだ村々歴史 3. 長柄の人柱 4. 江戸時代の治水以後の治水に貢献された人々の歴史 4. 上水道・淀川に掛かる架橋の技術発展の歴史を残す事も望む。</p> <p>終わりに</p>	Fax

	発言者	意見	聴取媒体
		あえて行政にお世話になる風水害・地震その他の災害については触れないように致しました。私にとり、第一室戸台風の体験は恐怖そのものでした。今後とも、よろしくお願いたします。 追記；高齢者・O.B.の力も捨てた物ではありません。大切ですよ！！	
6	個人	「水を飲むとき、井戸を掘った人の苦勞を思い出せ」。これは中国の諺です。同じように、淀川水系の河川、湖沼を見るとき、治水に、利水に、舟運に心血を注いだ先覚者の勞苦を思い出さねばなりません。 安治川の開削にあたった河村瑞賢 高瀬川を開削し、大堰川の改修に当たった角倉了以 淀川の治水、舟運に努力したデレーケ 琵琶湖疏水を完成した北垣国道京都府知事、田辺朔郎技師 など、幾多の先覚者がいます。 これら先覚者の苦勞を知ることによって、母なる川、そして時には猛威を振るう淀川水系の河川を大切にしようという心が、一般大衆のなかに生まれます。そこで、委員会の中で、これら先覚者を顕彰するとともに、その功績の遺跡の保存を考え、淀川水系のPRに役立てていただきたい。	Fax
7	個人	準備会議への意見： 水質について 淀川の水質はこの30年間でずいぶん改善されているデータを見ました。更によくするため淀川ゴルフの農業規制、京都市内から桂川に流入する水質の改善、対策を議論してください。 淀川水系博物館、デレーケ顕彰碑について 現在の淀川資料館では不十分です。デレーケの河川改良工事の恩を忘れないためにデレーケの碑が欲しいところです。 河川環境 野草園のような自然地区を増やして欲しい。 河川工事に貢献されたデレーケの顕彰碑も検討して欲しい。 大淀野草園ではマツムシがなき環境庁の音の100選に選ばれています。 夏はオオヨシキリが営巣しています。 野鳥の看板 淀川は野鳥の宝庫です。淀川左岸中津あたりに野鳥の看板が欲しい。	E-mail
8	市民団体	流域住民の意見を重視し、河川整備をすすめようとしている今回の取り組みに、心から歓迎の意を表明致しますと共に大いに期待させて戴いている旨をお伝えいたします。 私どもの地域では、これまでからも、いろいろと意見、要望をお聞きとりにいただき、まだまだ懸案の問題が残っておりますが、桂川流域を美化するために、お力添えを戴き、目に見える成果も上げることが出来ました事を有難く思っております。 今後は、残された懸案事項の解決と共に、河川の場合は、何よりも治水が大切であり、この面でのご努力をお願い申し上げます。 最近では、五十年に一回、百年に一回と言うような災害も稀ではなく、常に不安にさらされております。 以上、お礼とお願いを申し上げます、淀川水系流域委員会のご盛会をお祈り申し上げます。 私どもの活動は、取り組みだして十年を経過しましたが、京都市の中でも1つの学区であり、まさに微々たるものではございますが、これからもボランティア活動として頑張ってお参りたいと思っておりますので、よろしく、お願申し上げます。	Fax
9	財団	野生動物がすみやすい様に、環境を配慮した河川整備計画を望みます。 常日頃の生息状況調査結果を参考にしていきたい。	Fax
10	個人	1.工事計画については、生態系に配慮したのものから、人工的なもの、危険度が高いが自然を残すもの、危険度は低い自然を潰すもの、費用が高くつくものから安いもの、完成後の維持管理に手間のかかるものから、かからないものなど、何通りもの案の中から住民が選択できるようにしてほしい。 2.工事をするにあたって、地元住民の同意を要する場合は、自治会長のみでの同意で、住民の同意を得られたとするのではなく、個別の工事ごとに、各	E-mail

	発言者	意見	聴取媒体
		住民の意見が述べられ、議論する場を設け、単に多数決ではなく、妥当な結論が出るまで、時間をかけるべきである。と思う。	
11	個人	<p>私は京都市伏見区に住む中学生です。家の横には東高瀬川が流れています。ここは国の管理の一級河川で、普段水があまり流れていない状態で水位が低く、よどんでいます。その結果藻が水面いっぱいに繁って異臭をはなっている時があります。</p> <p>また、土手の草も成長が早く、年三、四回程度の草刈りでは、草むらが生い茂っている時がとて長くて見た目がひどいです。イネ科などの花粉症もでるし、なんとかならないのか、と思っています。</p> <p>今年の四月から、学校の社会科の自由研究で、どうやったら行政に藻を刈ってもらえるのかを考えてきました。河川には、それを管理する者が河川法で決められているのを知りました。そして東高瀬川を管理する国にどうやって意見・要望を出せば良いかを考えてきました。でもどこへ直接言えば良いかわかりません。ですから管理者や連絡先を河川名の看板と共にもっと示してほしいです。現在は1kmほど上流の一級河川と二級河川の境界の城南宮橋に看板が設置されているだけで、探検してみても初めて見つけました。</p> <p>私は京都市の疎水事務所や淀川工事事務所に電話で質問をしたことがあります。その時、「土手の草刈りをするなら川の藻も刈って欲しい。」と質問をしてみました。「市街地の一級河川の東高瀬川は洪水を防ぐための川なので、藻までは刈りません。」と言われました。</p> <p>京都府管理の宇治川派流や、私の通う伏見中学の裏を流れる濠川も、水かさが少ないと藻が長くびっしり繁って不愉快な景色になります。ところが観光客相手の商売が多い南浜地区では、伏見観光協会の人たちが水位調節を管理者に要望して実現させたり藻を刈り取っています。伏見観光協会や商店街など利益にかかわる人たちは要望もまとまりやすいし声も大きいから国や府と交渉しやすい。相談する窓口も見つかるのが早い。私は行政も観光を優先しすぎていると思います。さらに先日の新聞記事で、宇治川の塔の川に発生している藻の撤去を建設省近畿地建に要望し、九月十一日に作業が行われることを知りました。そこは観光名所で、九月三日迄行われていた鵜飼いの営業中も、鵜が藻にひっかかることがあったそうです。市の観光協会の要望だったら藻を刈るのですか。</p> <p>また、枚方の辺りまで行くと淀川の両岸が公園になっていて、住民が楽しく利用できるように整備されています。いったん大雨で水量が増えても流れを確保できるように川幅もとても広くとってあります。治水と住民の利用がうまくできていると思いました。</p> <p>観光地だから整備する、藻を刈る。東高瀬川は洪水を防ぐ川だから何もしないというのはおかしいです。洪水はめったにおきないけれど、その川の横にずっと住んでいる人がいて、普段の不愉快な景色に悩んでいます。景観が悪いとか異臭がする程度ではだめですか。</p> <p>ただ調べ学習をしてみて、一年間に使える予算が決まっているとか、流量も細かく決められていて、治水が一番大切、ということも分かりました。川に水かさの流れにいきおいがあれば、それほど藻は繁らないし腐りもしないことも分かりました。琵琶湖からの取水量も決められているし、淀川水系という大きな単位でいろいろなことが決められているのも知りました。東高瀬川だけの水量や景観を考えるだけでは全体的な管理はできないのでしょうか。それら理解できるけれど、インターネットやファックスなどで住民の意見をもっと募集してみてもどうでしょうか。(市民新聞に載せてもらうとか)</p> <p>観光業だけでなく、同じ京都市内で堀川・西高瀬川沿いの自治会がまとめて京都府・市に水流復活の要望をだして、予算も出してもらえることになり、実現するそうです。</p> <p>私の住んでいるところは自治会もありません。住民の声をきいてもらう機会もないです。声もまとまりにくいでしょう。私のような中学生が一人で思っていることでも、近所に同じように迷惑に思っている人も多いと思います。それを学校で提案して清掃活動につなげるとか、住民に提案できる窓口があったらいいのに、とも思います。</p> <p>疎水放水路から東高瀬川左岸まで土手の草刈りに来ていた京都市水道局の人によると、年に三回草刈りするそうです。草刈りの回数を増やすなどは、河川の管理者に住民が依頼すれば、できるかぎり可能だそうです。国もこうしたら良いのに、と思います。</p> <p>管理者は住民の声をきく窓口をもっと増やして、みんなに知られるよう努力してほしいです。管理者が流域の住民の要望や意見を出しやすく、まとめて紹介できるような窓口を設置してほしいです。</p> <p>私は偶然、枚方市にある淀川資料館へ行きました。そういうものがあることも知りませんでした。そこはもともとは隣の淀川工事事務所の資料室のようなものだったのが、一般の人に河川に親しんでもらおうという目的でリニューアルオープンしたものです。こういう所がある、ということをもっと宣伝して、窓口にしてみるのもどうでしょうか。</p> <p>ここまでをまとめると、治水が一番大切だが、洪水を防ぐ川だからといって水無し川状態や藻だらけ雑草だらけのまま一年の大半を放っておくのはやめてほしい。</p>	E-mail Fax (2回に わけて 送付頂 いた)

	発言者	意見	聴取媒体
		<p>利害や商売がかかっていない住民の声もきけるような窓口を作って宣伝していったほしい。</p> <p>藻や草刈りに関しては、予算を増額し、回数を増やす。地域のボランティア活動を管理者側からも提案してほしい。</p> <p>藻の繁殖をおさえるには、一年を通してもう少し水の勢いがあると良いと思います。(毎年何度も刈るのを考えると大変なことです。)</p> <p>流域の小・中学校にも意見を求めてみる。</p> <p>河川の土手に管理者名連絡先の看板を設置してほしい。</p> <p>公務員の人たちは専門家です。私のような住民は個人的に電話で言っても、専門知識がないから、「それは無理です」とか「治水が一番の目的です」と言われると、そうなのかなあ、とそこで終わってしまいます。</p> <p>対応してくださった人たちはみんな、中学生の調べ学習と分かると、とても親切にいろいろ説明してくれましたが、要望する側も、何も知らずにやってほしいことだけきいてもらうのは難しいと思いました。</p> <p>住民が水系ごとの大きな管理をされていることを知った上で、自分のすんでいる所の環境について話ができるようになりたいです。住民が気軽に要望を出して、それが治水上なぜ無理なのかを知る、とか、改善方法を話し合うことはこれから大変必要だと思います。</p> <p>私は、自分の家の横を流れる川に興味を持っています。そして第一回の会議の様子をインターネットで知りました。NGOの人を住民の意見代表で入れるとかのっていました。NGOや観光協会や地元グループに入っていない個人は住民の声をまとめていくこともできません。秋までに意見を募集するというのに間に合わないけれど、流域の学区単位などで呼びかけて、子どもの意見も聞いてほしいです。</p> <p>看板の設置を提案しましたが、こんなのはどうでしょうか。</p> <p>ジョギングや散歩している人にも親しみがわくとおもいます。何年か、かかる計画だと思いますが、これで窓口が分かりやすくなると思います。なにか問題が見つかったら住民から通報しやすい。自動販売機にも電話番号や連絡先が書いてあると苦情が言いやすいです。</p> <div data-bbox="398 603 790 794" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">一級河川 川 ××川河口より30.8km 川合流地点より7.4km 建設省 管理 河川を大切に使う</p> </div>	
12	行政関係者	<p>は現在、二級水系の河川整備基本方針および整備計画の策定作業を進めているが、今後、一級水系の指定区間についても策定作業に着手する予定です。そのため、淀川水系の河川について、淀川本川との調整等が必要になると考えられますので、よろしくお願い致します。</p>	Fax
13	個人	<p>都市を流れる準自然として、淀川水系の役割は大きい。自然を崇拝する気持ちだけでなく、多くの人工的利用も整備計画へ反映するには、行政や企業の枠を越えて活動できるNPO等に、ある程度までの、意見集約をしていただくことが望ましいのではないかと。整備計画策定を通して地域活動が活発になることを期待しています。</p>	E-mail
14	市民団体	<p>水面側だけの空間でなく、左右両面のできるだけ広い面で山が見える形で景観を残してほしい。定期的草刈作業は里山管理の手法であり、貴重な植物が絶滅から守られている。野草の宝庫と私達は考えています。外来種の草木の種を工事跡の土堤修復に使用しないでほしい。</p>	Fax